



4年連続入選で今年も元気に発表した吉ヶ沢小の4人

### 吉ヶ沢小がかべ新聞で 4年連続で入選の快挙

全国子どもファーム・ネットコンクールで吉ヶ沢小学校（佐々木計校長：児童10人）が取り組んだ雑穀栽培の体験をまとめたかべ新聞「ざっこくてんごく」が、見事4年連続入選。2月5日には、入選したかべ新聞の全国交流会が東京で開かれ、5・6年生4人が参加しました。

同校では地域の方々の協力を得て、「雑穀」の種まきから脱穀まで一連の作業を体験。また、雑穀の栄養面の勉強や料理にも挑戦し「食の感謝祭」で地域の方々との交流も深めました。瀧渡巧さん（6年）は「地域の方々といふれあい、笑顔で交流できてとっても良かったです」と話しました。



### 手作りのゲーム楽しみ 笑顔で春が来たを歌う

五日市小学校（中田雅直校長：児童39人）の2年生5人が2月24日、江刈デイサービスセンター福寿草を慰問し、地域の高齢者とゲームや歌などを一緒に楽しみました。

「どうぶつボーリング」や「さかなつり」、「どんぐりロケット」など子どもたちの手作りのゲームで一緒になって遊んだり、ピアノの演奏を披露したりしました。また、おばあちゃんたちのリクエストで「春が来た」を一緒に笑顔で、手をたたきながら歌いました。

栗畑テルさんは「子どもたちがゲームを手作りましたなんて、とっても感心しました。」と目を細めていました。



手作りの「どうぶつボーリング」を楽しむ児童と高齢者ら



たくさんの意見が出され予定時間も大幅にオーバーしたワークショップ

### まちなかへ呼び込め！ 住民主体で知恵を出す

第2回くすまき「まち・みち」づくりワークショップ（主催：まちなか活性化協議会）が2月8日、総合センターで開催されました。今回は若い世代や女性など30人が参加。「夜でも楽しめる明るい町に」「高齢者が安心して歩ける歩道の整備を」「空き家を活用して乳製品などを販売しては」など、まちなかへ人を呼び込む知恵を出し合いました。

同協議会で策定を目指す「葛巻まちづくり構想」は、地域に関わるさまざまな立場の人が地域を学び、見つめ、未来を描くため昨年2月から取り組み、今年の5月に構想案がまとめられる予定です。

### ワインの文化が定着し ジャズと新酒を楽しむ

くすまきワインの「第22回高原の夕べ 森のワインパーティー」は2月18日、モウモウ館で開かれました。ワイン文化がしっかり定着し恒例となったこのワインパーティーには、待ちに待った町民200人が詰め掛けました。

今回は、盛岡を拠点に活躍するジャズピアニスト馬場葉子さんの落ち着いた演奏を楽しみながら、2月23日発売の新酒「蒼(あお)」の試飲ができるというサプライズも。参加した荒谷セツさんは「どのワインも料理も本当においしい、とっても雰囲気がいいですね。新酒の「蒼」も出たらずぐ買おうと思っています」と話していました。



旧山形村の嵯峨力雄さんによるユーモアたっぷりの乾杯のご発声④  
馬場葉子さんの演奏⑤



和牛繁殖農家など100人が出席して盛大に行われた1000頭達成祝賀会

### 導入から30年の節目に 念願の和牛繁殖1000頭

和牛繁殖1000頭達成祝賀会（主催：新岩手農業協同組合、新岩手和牛改良組合葛巻分会）は2月22日、モウモウ館で和牛繁殖農家や来賓など100人が出席して開催され、平成9年のJA合併以来の念願達成を喜びました。

当町では昭和56年に和牛導入がはじまり、今年で30年の節目の年。昨年3月23日には、22年度中に1000頭を達成させようと「必達大会」を実施し、分会員やJA、行政など一丸となって取り組み、念願の1000頭達成となりました。

外山昭弘さんが「さらなる繁殖と子牛販売増に」と和牛改良組合葛巻分会を代表し決意表明しました。



力強く舞う太夫3人による「舞込み」

### 豊作を祈願し舞い踊る 春呼ぶ茶屋場えんぶり

茶屋場えんぶり保存会（東春三会長）による旧暦の小正月行事の門打ちが2月20日、町内9カ所で行われました。

えんぶりは、馬の頭を象徴化した華やかな「烏帽子」をかぶり、田をならすときに使う農具「えぶり」を持って舞うのが特徴。太夫3人による「舞込み」は、田植えなどの動作を力強く表現、豊作を祈願し舞い踊りました。「松の舞」や「えんこえんこ」「金輪切り」「大黒舞」なども披露され、集まった観客から盛んな拍手が送られていました。

八戸が発祥のえんぶりは本町に明治30年代に伝わったとされ、現在は茶屋場地区で唯一伝承されています。